アドビ株式会社
141-0032　品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビ、クリエイティブツール群をプロレベルの精度とコントロール性を備えたエージェント型ワークフローへと変革し、クリエイターの創作活動を支援

- Adobe Creative Cloud 全体で利用可能になったアドビのクリエイティブエージェントが、多段階のワークフローをオーケストレーションすることで、作業を委任してクリエイティブ制作のスピードを向上。ローカル MCP 連携により、サードパーティのエージェントから Adobe Creative Cloud ツールの操作が可能に
- Adobe Photoshop の「リライト」や「生成リスタイル」、Adobe Premiere の「カラーモード」、Adobe InDesign の「共同編集」など、Adobe Creative Cloud の主力製品に導入された新たなイノベーションにより、中核となるワークフローが高速化され、クリエイティブプロセスの核心となる制作活動において実現できることを拡大
- 新しい「Adobe Firefly デザイン」は、Adobe Firefly 上でラスター、ベクター、モーション、3D、印刷を 1 つのキャンバスに統合。Adobe Creative Cloud に標準搭載されることで、プロが求めるコントロール性と精度を備え、制作、レビュー、納品のためのコラボレーション空間を提供

※当資料は、2026 年 11 月 10 日（米国時間）に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳版です。

【2026 年 11 月 11 日】
アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、世界最大級のクリエイティビティカンファレンス Adobe MAX において、Adobe Creative Cloud のツール群をプロが求める精度とコントロール性を備えた「エージェント型ワークフロー」へと変革することを発表しました。これにより、クリエイターは創作活動により多くの時間を割けるようになります。アドビ独自のクリエイティブエージェントが Adobe Creative Cloud 全体に展開され、多段階のワークフローをオーケストレーションすることで、クリエイティブプロフェッショナルが作業を委任、指示できるようになりクリエイティブ制作のスピードを向上させます。またアドビは、クリエイターが任意のサードパーティ AI エージェントから Adobe Creative Cloud ツールを操作できるようになるローカル MCP 連携のプレビューも公開しました。

Adobe Photoshop の「生成リスタイル」、Adobe Premiere の「カラーモード」、Adobe InDesign の「共同編集」など、Adobe Creative Cloud の新たなイノベーションにより、写真家、映像編集者、デザイナーは、より迅速かつ高精度に作業を行うことができます。また、アドビは「Adobe Firefly デザイン（ベータ版）」を発表しました。これにより、ラスター、ベクター、モーション、3D、印刷を 1 つのキャンバスに統合し、1 つの場所で作品の制作、確認、納品を行うことができます。アドビが買収を完了した Topaz Labs は 2 つの新しい画像補正モデル「Wonder 4」と「Image HDR」を発表しました。これらは、アップスケール、ノイズ除去、ブレ補正、シャープにする調整機能を備え、より豊かなディテールを備えた画像へと変貌させます。

現在、クリエイティブプロフェッショナルは、より多くのメディア、用途、フォーマットへの対応が必要になっており、高品質な作品をより迅速に制作しなければなりません。これを受けアドビは、彼らが信頼するツールに AI による支援とコラボレーション機能を直接組み込むという、新たな制作アプローチを推進します。これにより、クリエイティブプロフェッショナルは精度やクリエイティブの主導権を維持したまま、柔軟にアイデアを形にすることができるようになります。アドビのツールにより、クリエイティブプロフェッショナルは制作プロセスにおいて、AI に作業を任せるだけでなく、手作業で調整するタイミングを自身でコントロールし、自身のセンスと作風を最終結果にどのように反映させるかを選択できます。

アドビの Adobe Creative Cloud プロダクトマーケティング担当バイスプレジデントであるディーパ スブラマニアン（Deepa Subramaniam）は、次のように述べています。「クリエイティブプロフェッショナルが作品に注ぐアイデア、センス、そして職人技こそが、その作品を唯一無二のものにします。Adobe Creative Cloud の最新のイノベーションは、プロが信頼するクリエイティブツール群を、精度、コントロール性、柔軟性を備えた『エージェント型かつインテリジェントなワークフロー』へと変革します。クリエイティブプロフェッショナルはアイデアを追求したり、成果物の完成度を高めることで、作品を自分らしいものにするためのクリエイティブな判断に集中できるようになります。」

クリエイティブプロフェッショナルに作業の進め方の選択肢を提供する、新しいエージェント機能

アドビのクリエイティブエージェントは、**Adobe Premiere**、**Adobe Illustrator**、**Adobe InDesign**、**Adobe After Effects**、**Adobe Frame.io** などの主力デスクトップツールで利用可能になりました。これにより、より多くのクリエイティブプロフェッショナルが、多段階のワークフローを調整するクリエイティブパートナーを得ることができ、クリエイターは「監督」の立場に立ち、自身の創作活動に集中できるようになります。アドビのクリエイティブエージェントは、シーケンス内のすべてのクリップにエフェクトを適用した

り、フレーム全体にわたってマスクされた被写体を追跡したり、シーケンス全体の色や露出を一度に調整するなど、Adobe Premiere の新しい機能をサポートするようになりました。

また、アドビは **Adobe Creative Cloud ツール向けローカル MCP 連携**のプレビューも公開しました。これは、プロのクリエイターがサードパーティ製のエージェントや AI アシスタントを介してアドビのクリエイティブツールに接続し、それらのエージェントが Adobe Photoshop、Adobe Premiere、Adobe Illustrator、Adobe InDesign 内でローカル作業を行うように指示できるようになる仕組みです。エージェントは、ユーザーのコンピュータ上のプロジェクトファイルに直接変更を加えることができます。レイヤー、ベクター、ビン、シーケンスは引き続き編集可能であり、クリエイティブプロフェッショナルはいつでも作業に介入して手作業で微調整を行うことができます。エージェントが Google Drive や Slack など、MCP 対応の他のツールにも接続されている場合、それらを同じワークフローに取り込むことが可能です。例えば、Google Docs から企画書を取り込み、アドビのツールでプロジェクトに取り組み、Slack で同僚と結果を共有することができます。

Adobe Firefly はクリエイティブプロフェッショナルが求める性能、精度、そしてコントロール性を兼ね備え制作活動を一か所で完結させる環境を提供

クリエイティブワークはますます画像、動画、音声、デザインといった分野にまたがるようになっています。クリエイティブ AI スタジオである Adobe Firefly は、アドビが提供する業界最先端のクリエイティブツール、業界トップクラスの AI モデル、 アドビのクリエイティブエージェントなど、あらゆる要素を 1 か所に集約し、クリエイティブプロフェッショナルから求められる高い性能と精度を提供しています。さらに、より高度な編集や仕上げが必要な場合は、Adobe Creative Cloud の各種ツールへシームレスに移行し、作品をさらに仕上げることが可能です。

Adobe Firefly の新しい機能には、以下が含まれます：

- **Adobe Firefly デザイン（ベータ版）：**イラスト、画像編集、アニメーション、3D、印刷用のツールを 1 つのキャンバスに統合した新しいデザイン編集スペースです。クリエイターは、ブランドアイデンティティやソーシャルキャンペーンを、最初のアイデアから最終確認まで一貫して制作することができます。
- **Adobe Firefly グラフ（ベータ版）：**クリエイティブプロフェッショナルが、主要な AI モデルとアドビの制作ツールを統合した、カスタマイズ可能で繰り返し利用可能なワークフローを構築できるよう支援します。キャラクターの検討やショットリストの作成から、キャンペーン資産全体へのブランドガイドラインの適用にいたるまで、幅

広い用途に対応しています。AI アシスタントが組み込まれており、各ワークフローの作成と最適化をサポートします。

- **Adobe Firefly ビルダー（プライベートベータ版）：**設計からコードへのプロトタイピング機能を先行体験できるツールです。クリエイティブプロフェッショナルが、自然言語を用いてアイデアを web サイト、プレゼンテーション、アプリなどのインタラクティブでブランドイメージに沿ったプロトタイプへと具現化できるよう支援します。初期のプロトタイプ作成にはコードが一切不要です。キャンバス上で任意の要素を直接編集でき、デザインシステムの適用によってプロジェクト全体の一貫性が保たれます。

Adobe Creative Cloud の新たなイノベーションが、プロフェッショナルによる最高の作品の制作、仕上げ、納品を支援

アドビは、クリエイティブプロフェッショナルが複雑なタスクをより迅速に処理し、より高い精度で作品を磨き上げ、さらにスキルアップできるよう、主力アプリケーション全体にわたり新しい編集ツールとパフォーマンス強化を導入します。

新機能は下記の通りです：

- **Adobe Photoshop** では、画像の再構想、編集、調整を行う新しい方法を導入します。ライティングの追加や調整を行う「**リライト**」、プロンプトベースの編集結果を強度スライダーで操作できる「**生成リスタイル**」、よりシームレスなオブジェクト除去を可能にする「**削除ツール：関連要素の削除**」、編集前後の比較を簡単に行える「**クイック比較**」などのほか、「**AI アシストエディター**」により、AI を使ったシンプルな編集体験を実現します。
- **Adobe Premiere** では、ビデオ、カラー、オーディオの編集をより高速かつ直感的に行えるようになりました。これには、編集者が自在に色を調整し、映像の魅力を引き出すことができる初のカラーグレーディングシステム「**カラーモード**」、タイムライン上で直接ビデオ、効果音、サウンドスケープ、音楽を生成する「**生成メディアツール**」、そしてオーディオを素早くクリーンアップ、分離、洗練させる「**オーディオを強化**」、「**クロストークを分離**」、「**音源を分離**」といった新しい AI 搭載オーディオツールが含まれます。さらに、「**生成除去（ベータ版）**」を使えば、編集者は動画から不要なオブジェクトを簡単に削除し、そのスペースをリアルなディテールでシームレスに埋めることができます。
- **Adobe Lightroom** では、写真をさらに魅力的に仕上げるための新しい機能が公開されています。これには、5 つのスタイルオプションから選べる柔らかく映画のような光を加える「**グロー（光彩）**」、微調整コントロール付きのワンタップレタッチ機能である「**傷の削除**」、参照写真に基づいて不自然なまばたきを自然な仕上が

りで補正する「**目をひらく（ベータ版）**」、そしてデスクトップと iPad 間でライブレビュー、整理、コラボレーションを可能にする改良された「**テザー撮影**」が含まれます。

- **Adobe Illustrator** では、刷新された**コンテンツライブラリ**と、キャンバス上で直接操作できる新しい**ブレンドコントロールにより、**デザインをさらに柔軟に調整できるようになりました。
- **Adobe InDesign** では、リアルタイムの「**共同編集（ベータ版）**」、「**フレックスレイアウト**」でのテキストフレームの動的なサイズ変更、問題を発見するための新しい「**ドキュメントチェック**」および「**書き直し**」機能により、共同作業やレイアウトのワークフローが効率化されます。
- **Adobe Fonts** では、圧倒的な存在感と親しみやすさを兼ね備えた、超極太の日本語書体「ネオクロ」が追加されます。力強い Black ウェイトに、丸みのあるフォルムと明朝風の繊細なディテールを融合しています。かなとラテン文字の幅を最大 50%まで圧縮できるバリアブル機能により、大胆でリズミカルな文字表現を実現します。ロゴやポスター、動画タイトルなど、視線を惹きつけるクリエイティブに最適です。

Topaz Labs

アドビが買収を完了した、AI を活用した画像・ビデオ補正技術のリーダーである Topaz Labs は「Wonder 4」、「Image HDR」を含む 2 つの新しい画像補正モデルを発表しました。これにより、クリエイティブプロフェッショナルが画像をさらに高度に補正・洗練させるための機能を強化しました。「Mixture of Experts」アーキテクチャを採用した「Wonder 4」は、アップスケーリング、ノイズ除去、ブレ補正、シャープにする調整機能などを組み合わせた画像補正モデルであり、ワンクリックで画像を劇的に変えることができます。「Image HDR」は、AI を活用して通常の画像を HDR に変換し、明るさを向上させ、より豊かなディテールを創出します。これらの最新機能により、写真家、レタッチャー、デザイナーは、本来なら放置されていたかもしれない画像を復元し、より短時間で洗練されたビジュアルを仕上げることが可能になります。その結果、新しい画像の撮影や、写真を新たなクリエイティブプロジェクトに活かすことに、より多くの時間を割くことができるようになります。

価格と提供時期

Adobe Creative Cloud の新しい機能は本日より一般提供が開始されます。ただし、Adobe InDesign の「共同編集」、Adobe Lightroom の「目をひらく」、および Adobe Firefly デザイン、Adobe Firefly グラフはベータ版として提供されます。Adobe Firefly ビルダーは現在、プライベートベータ版として提供されています。

アドビ独自のクリエイティブエージェントを搭載した AI アシスタントは、アドビの主力デスクトップアプリでベータ版として利用可能です（Adobe Photoshop については、Adobe Photoshop ベータアプリでのみ利用可能です）。Topaz モデルは、こちらから購入できます。 Adobe Creative Cloud ツール向けローカル MCP 連携は、2027 年初頭にプライベートベータ版として提供開始予定です。

■「アドビ」について

アドビは創造性、生産性、そしてパーソナライズされた顧客体験を実現する革新的なプラットフォームとツールを提供し、 -Empowering everyone to create- すべての人が創造力を発揮できるよう支援してまいります。
アドビに関する詳細な情報は、web サイト（https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html）をご覧ください。

© 2026 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.